

◆水梨小学校統合にかかる地域懇談会の概要

	開催日		市教委の説明内容	参加者の意見等
1	2014年	11月25日	2017年4月統合へ向けた市の再編計画、児童数の見込みを説明	住民の意見は反対一色。新校舎を建てたばかりの統合を疑問視。小規模特認校による児童増を望む意見、小規模校の良さを説く人あり。小規模校が良くて引っ越してきたという女性も。
2	2015年	7月27日	適正規模の方針、再編計画の進め方を説明	小規模校は全員が主役である。学校がなくなることで地域が衰退することが心配。復興が進んでいないのに時期尚早であり、牧沢の公営住宅団地による人口増を期待する意見も。複式は問題だという意見もあった。
3		10月26日	児童数から見た複式学級の見込み、指定校変更状況などを説明	牧沢住宅の児童の通学区は松岩小であることが説明される。児童の心のケアのため、統合前に松岩省との交流会を進める方針も示される。
4	2016年	6月23日	再編計画を見直し、統合を2018年4月に延期したことを説明	統合が財政ではなく教育環境のためであることを確認。市教委は小規模校の良さを否定せず、適正規模のメリットを説く。保護者からは松岩小周辺での津波被害を心配。いずれ統合は仕方がないという意見もあり。統合準備のため2017年度に教員1人を加配する方針も示す。
5		9月12日	津波浸水域と災害危険区域、松岩小体育館の耐震補強を説明	牧沢団地全体を松岩小学区にすることに疑問の声。統合後はコミュニティスクールとして、郷土芸能継承を含めて地域を大切にしようとする方針が示される。PTAの話し合いでは大半が反対したと報告あり。市教委は保護者だけとの懇談を希望するも叶わず。
6		10月27日	学校規模のメリットとデメリット、児童間交流を説明	保護者から集団教育は中学になってからでもいいとの意見。統合計画が公表されたことで指定校変更が増えていることが指摘される。統合を決めなければ教員の加配をやめることを示唆する市教委の発言に、PTA会長が「おどしだ。当面、懇談会は必要ない」と猛反発。
7	2017年	5月17日	スクールバスを2コースにする例、運行時間例を説明	PTAによるアンケートで、反対13人、無回答2人、賛成1人の結果を報告し、地域の人たちと自然に囲まれながら育てたいと存続を懇願。
8		7月16日	市議会の質疑を説明。再編計画概要、過去の懇談会議事録を配布	勤め人も参加しやすいように、初の日曜日開催。水梨保育所の閉所にかかる経緯に不満の声。発言しない人の考えを知るため、市教委は参加者に自由記述のアンケートを配布するが、市教委への不信感から立会いで投入箱開封を要請。
9		9月13日	前回のアンケート結果、先に統合した馬籠小児童の様子を報告	アンケートは存続を求める意見ばかり。市教委は適正規模校の保護者参観を呼び掛けた。市議会教育長が答弁した「学校は地域の宝との概念を大切にすべし、子どもを犠牲にしてしまう可能性がある」の発言撤回を求める意見あり。
10	2018年	1月11日	統合時期を2019年4月に延期することを説明	統合の延期は「準備の期間もあるため」と説明。教育長がエリクソンの心理社会的発達理論をもとに、学童期での集団生活による切磋琢磨の必要性を説く。いじめ、不登校を心配する意見あり。小規模校のデメリットばかり取り上げる市教委に対し、「統合は仕方ないと思っていたけど反対する気持ちに変わった」という住民も。市教委は小規模特認校で成功している浦戸小・中の視察に同行を呼び掛ける。
11		3月26日	新年度の全校児童数が16人になることを説明	PTA会長が「統合には反対だ。説明は理解しており、これ以上は意味ない」と発言。小学校がない地区での子育てが敬遠されることを心配する人も。浦戸視察をもとに特認校化を求めるも、市内全体が少子化であることなどを理由に市教委は難色を示す。
—		6月2日		運動会で子どもの少なさを実感したことで地域主催の懇談会を開催
12		6月30日	統合に向けた準備スケジュール、学校跡地活用の考え方を説明	子どもがいない家庭は行きにくいとの指摘を受け、会場を水梨小からコミュニティセンターに変更。教育長が「懇談会の回数を重ねても出席者が固定して同じ議論となっている」と準備作業を進めることに理解を求める。小学生が「なくさないで」と訴えるも、住民からは「6年生が卒業すると残りは9人だけ。地域活性化は大人の役割であり、統合とは別に考えるべき」と統合を認める意見を出す。子どもの入学を控えた母親は「友達がいる松岩に行きたいと子どもに言われた。それぞれに良さがあり、子どもの行きたい方へ通わせたい。なくなるのは嫌だけど、この人数で6年間通わせるのは不安」と悩みを語る。
—		10月16日		市教委が保護者との座談会を開催
—		10月30日		市教委が未就学児の保護者らとの座談会を開催
13		11月15日	保護者、未就学児との座談会の内容を報告。これまでの懇談会の進め方について「丁寧な説明ではなかった」などと謝罪した	9月のPTA臨時総会で反対4、賛成3だったことを会長が報告。すでに松岩小へ指定校変更で通っている子の親たちが「大人数での経験が社会に出て打たれ強くなると期待した」「罪悪感があるが、友達をたくさん作ってほしくて松岩に通わせている」と勇気を出して発言。反対してきた地域住民の中にも、「指定校変更した子が在籍児童より多く、実際は賛成が上回っている。9人の学校ではあまりにかわいそうだ」「現実を考えよう」と統合を容認する意見も出た。水梨小の保護者からも「いつかの時点で線を引く必要がある」「反対が1人でもいれば結論が出ないのか」という発言があった。その一方で、「児童を増やす努力もしてなく、話し合いはスタートラインにも立っていない」などと反対を続ける保護者、住民もいた。市教委は「在籍児童数の減少は著しく、これまで経験したことのない学校環境となる恐れがある。不安は多々あると思うが、教委の責任として来年4月の統合を考えている。次回から統合に向けた具体的な話し合いに移りたい」とした。これに対し、「強制的な統合だ」と反発する意見もあったが、最後に統合準備に進むことを最終確認して終了した。た。